

## 令和6年臨時理事会議事録

1. 開催日時 令和6年7月25日(木) 午後6時00分～ZOOMにて開会
2. 開催場所 〒104-0045 東京都中央区築地3丁目12番2号 築地高野ビル5F  
(一社)日本光線力学学会事務所
3. 出席役員 理事 秋元治朗、荒井恒憲、尾花明、井上啓史、臼田実男、  
奥仲哲弥、坂本 優、土田敬明、平川和貴、古川欣也、  
松井裕史、武藤 学、矢野友規  
監事 西脇由朗  
理事総数 23名 理事会開催時の議決権総数 11.5個  
本理事会出席理事13名、議決権13個
4. 議長 代表理事 古川欣也
5. 議事録作成者 理事 武藤 学、理事 井上啓史
6. 議事の経過の要領及び結果

代表理事古川欣也は定款第36条の定めに従い議長席に着き、以上のとおり本日の出席理事数及びその議決権数等を報告、本会の全議案を審議するのに必要な法令及び当学会定款が定める定足数を満たしている旨を報告した。  
よって、議長は本会を開会する旨を宣し、直ちに下記議案の審議に入った。

議案 2024年7月6日発行の雑誌、週刊「東洋経済」一握なき「エセ医療」に騙されるな！—に光線力学的治療法(PDT)を貶める記事内容があった。東洋経済編集長及び執筆者に、訂正記事を求めるか否かの意見を集約。

### [意見集約]

当該雑誌の記事では、楽天メディカルの局所進行頭頸部がんに対する光免疫療法(PIT)について紹介し、「自由診療による疑似光免疫療法」に注意喚起を図っている。この記事の中で、疑似光免疫療法は「光線力学療法」とほぼ同じと評価し、専門家との意見と称し、「PDTは保険適用されたが主に表面に近いがんが対象であり、がん周辺の正常細胞にも影響が出るなど、専門医の評価が芳しくない。」と紹介している。その記事内容は、読者によっては「光線力学療法」が「“疑似”光免疫療法」で、効果の少ないニセモノの治療法であるかのように捉えかねない記事内容になっている。

頭頸部がんと関係のない肺がん、食道がん、脳腫瘍など他疾患に対して保険適用のある「光線力学療法」を持ち出して、専門医の評価が芳しくなかったとし、「光線力学療法」と「光免疫療法」を比べる手法による今回の記事内容にはその根拠と妥当性が全くない。全体の文面からも「保険適用の光線力学療法」の評価を貶める記事になっており、実臨床で行われている「光線力学療法」や現在進行中の「光線力学療法」を用いた臨床試験に携わる医師にとって受け入れ難く、また社会的にも多大なる影響を与える内容となっている。

議長は参加理事の意見を求め、PDTに真摯に取り組む研究者の成果を貶める情報を掲載した東洋経済編集長及び執筆者に抗議文あるいは質問状を内容証明郵便にて提出し、訂正を求める行動をとること、ホームページにおいて抗議した事実について掲載することで全員の意見が一致した。  
以上

令和6年7月25日

一般社団法人 日本光線力学学会  
議長 古川欣也

議事録作成理事 武藤 学 井上啓史

監事 西脇由朗